

第3回日本服薬支援研究会/
第15回 旧簡易懸濁法研究会 総会

資 料

日時:2022年9月4日(日) 16:05～16:30

ZoomによるWeb会議

第3回日本服薬支援研究会/第15回旧簡易懸濁法研究会 総会

司会 毎田幹事

議長 倉田代表幹事

議事

議事録作成者選任

議事録署名人選任(2名)

担当

ア. 審議事項

2021年度事業報告

新井副代表幹事

2021年度会計収支報告

久保幹事

2021年度会計収支監査報告

宮本監事

2022年度事業計画案

新井副代表幹事

2022年度事業予算案

久保幹事

イ. 報告事項

役員

世良幹事

研究会規則改正

石田副代表幹事

簡易懸濁法認定制度報告

青木幹事

簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者表彰

世良幹事

2021 年度(2021 年 7 月～2022 年 6 月) 事業報告

[I] 講演会・実技セミナー

<2021 年>

1) 第 3 回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

日時: 2021 年 8 月 22 日(日)10:00～15:30

場所: Zoom によるオンライン開催

2) 青森県薬剤師会 WEB 研修会(後援)

日時: 2021 年 9 月 17 日(金)19:00～20:30

場所: Zoom によるオンライン開催

内容: 「薬剤師のソコヂカラー服薬支援」

昭和大学薬学部 客員教授 倉田 なおみ先生

3) 第 2 回日本服薬支援研究会/第 14 回簡易懸濁法研究会 学術講演会・総会

日時: 2021 年 10 月 3 日(日)14:00～16:00

※14:05～15:30 学術講演 / 15:35～16:00 総会

場所: Zoom によるオンライン開催

内容: 特別講演 「子供から大人までの在宅医療」

かさまつ在宅クリニック 院長 笠松哲司 先生、小児在宅医長 笠松由華 先生

<2022 年>

4) 医療安全部会 Web 講演会 2022

日時: 2022 年 1 月 6 日(木)19:00～20:30(質疑:20:00～20:30)

場所: Zoom によるオンライン開催

内容: 「医療安全は医薬品適正使用と服薬支援が胆(きも)！」

大洗海岸病院 薬剤部長 新井克明 先生

5) 第 4 回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

日時: 2022 年 2 月 11 日(金)10:00～15:30

場所: Zoom によるオンライン開催

6) 秋田県薬剤師会・簡易懸濁法研修会(後援)

日時: 2022 年 3 月 4 日(金)19:00～20:30

場所: Zoom による Web ライブ配信

内容: 「摂食嚥下障害者への、薬投与の問題点と対応—経口&経管投与—」

昭和大学薬学部 客員教授 倉田 なおみ先生

7) 摂食・嚥下障害部会 Web 講演会 2022

日時: 2022 年 3 月 25 日(金)19:00～20:20

場所: Zoom による Web 講演会

内容: 「嚥下機能障害と服薬補助ゼリー開発の経緯」

株式会社龍角散 新田信一 先生

「”錠剤が飲めない”時の対処法」

昭和大学薬学部 客員教授 倉田 なおみ先生

8) 第5回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

日時: 2022 年 5 月 22 日(日)10:00~15:30

場所: ZOOM による Web ライブ配信

9) J-HOP 創立 10 周年記念講演会(後援)

日時: 2022 年 6 月 19 日(日)12:30~16:30

場所: ハイブリット方式(現地および ZOOM 開催)

現地会場: 北里大学薬学部白金キャンパス(東京都港区白金 5-9-1)

〔Ⅱ〕 会誌発行

Vol.9, No.1(2021年 8 月)、 Vol.9, No.2(2022年 1 月)

〔Ⅲ〕 簡易懸濁可否情報共有システム収録データ更新

2021 年 10 月 30 日 収録情報(書籍情報)を「内服薬 経管投与ハンドブック第 4 版」の内容に更新

〔Ⅳ〕 調剤と情報 連載終了

月刊誌「調剤と情報」じほう社、「現場の困った! にエキスパートが答える Q&A 簡易懸濁法」、
2019 年 11 月~2021 年 11 月、毎月連載(研究会会誌とともに別冊を会員へ送付)

〔Ⅴ〕 簡易懸濁法マニュアル第 2 版、じほう社の会員特別価格(50%引き)での販売

会員へ 133 冊販売

〔Ⅵ〕 簡易懸濁法認定薬剤師・指導薬剤師

1) 簡易懸濁法認定薬剤師 2021 年 12 月 8 名認定

2) 簡易懸濁法指導薬剤師 2021 年 12 月 2 名、2022 年 3 月 2 名認定

※2021 年 11 月に認定試験を Web で実施

〔Ⅶ〕 日本薬剤師研修センター:研修認定薬剤師制度

2022 年 4 月から運用の薬剤師研修・認定電子システム(PECS)による集合研修(講義・実習)の
認定を開始。簡易懸濁法 Web 実技セミナーでは、研究会の 2 単位と日本薬剤師研修センターの
3 単位の取得が可能。講演会等では、日本薬剤師研修センター1 単位の取得が可能。

〔Ⅷ〕 全国薬剤師・在宅療養支援連合会との連携

1) 相互の講演会を後援、講演会の広報活動を協力

2) 講演会の参加費は、割引価格

2021年度 日本服薬支援研究会 収支報告書

(2021年7月1日～2022年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		2021年度 予 算 額	2021年度 決 算 額	差 異	摘 要
大科目	小科目				
会費収入		5,296,000	5,584,000	288,000	
	正会員会費	3,790,000	4,030,000	240,000	5,000円×806件(当年度757件、過年度43件、前受金6件)
	学生会員会費	6,000	4,000	-2,000	2,000円×2件(当年度2件)
	賛助会員会費	1,500,000	1,550,000	50,000	50,000円×31口(当年度30口、前年度1口)
事業収入		1,590,000	1,118,500	-471,500	
	講演会費	720,000	22,500	-697,500	医療安全部会Web講演会:J-HOP会員500円×4名、非会員1,000円×2名 摂食・嚥下障害部会Web講演会:J-HOP会員500円×17名、非会員1,000円×10名
	学術大会・総会費	0	13,000	13,000	参加費:J-HOP会員500円×12件、非会員1,000円×7件
	実技研修会費	685,000	913,000	228,000	第3回Web実技セミナー:会員6,000円×12名、非会員11,000円×12名、認定薬剤師研修8,000円×4名 第4回Web実技セミナー:会員6,000円×21名、非会員11,000円×12名、J-HOP会員8,500円×5名、認定薬剤師研修:8,000円×2名、3,000円×2名 第5回Web実技セミナー:会員6,000円×21名、非会員11,000円×14名、J-HOP会員8,500円×5名、認定薬剤師研修8,000円×4名
	認定事業費	185,000	170,000	-15,000	認定薬剤師更新申請料5000円×9名、認定薬剤師新規申請料5,000円×8名 認定指導薬剤師更新申請料5000円×9名、認定指導薬剤師新規申請料10,000円×4名
その他収入		0	107,762	107,762	利息、預り金
当期収入合計(A)		6,886,000	6,810,262	-75,738	
前期繰越収支差額		7,725,554	7,725,554	0	
収入合計(B)		14,611,554	14,535,816	-75,738	

【支出の部】

勘定科目		2021年度 予 算 額	2021年度 決 算 額	差 異	
大科目	小科目				
事業費支出		2,453,670	2,085,275	-368,395	
	講演会費	539,120	111,368	-427,752	講師等謝金
	学術大会・総会費	176,700	148,411	-28,289	
	実技研修会費	905,000	861,762	-43,238	第2回Web実技セミナー:謝金、資料代、レターバック代 第3回Web実技セミナー:事前打合せ費、謝金、交通費、資料代、Zoom契約費 第4回Web実技セミナー:事前打合せ費、交通費、謝金、資料代、参加証郵送費 第5回Web実技セミナー:事前打合せ費、謝金、交通費、資料代
	認定事業費	128,850	259,734	130,884	認定試験:交通費、謝金
	簡易懸濁可否情報共有システム保守費	264,000	264,000	0	月額22,000円(12ヶ月分)
	ホームページ改修費用	440,000	440,000	0	経管投与ハンドブック第4版データ更新対応費用
		4,440,500	4,040,125	-400,375	
管理費支出	幹事会・委員会費	464,000	173,480	-290,520	・Web幹事会(10回)・医療安全部会(1回) ・生涯教育委員会Web会議(2回) ・認定制度委員会web会議(2回):日当、Zoom年間契約料、Zoomオプション契約1月分
	事務消耗品費	714,000	530,802	-183,198	会報制作(2回)、コピー代等
	通信費	202,000	115,161	-86,839	宅急便代、メール便代、切手代
	人件費	2,964,500	2,927,100	-37,400	株式会社アクセライト事務委託料(会員・庶務・会計業務)、作業委託料
	租税公課	0	107,759	107,759	源泉税
	原稿料	20,000	35,000	15,000	原稿執筆料(図書カード)
	雑費	76,000	150,823	74,823	振込手数料、研修実施機関認定申請費、ピーティックス販売手数料
	予備費	1,150,780	469,622	-681,158	簡易懸濁法マニュアル第2版特別割引負担費(133冊)、経管投与ハンドブック第4版特別割引負担費(6冊)、「調剤と情報」別冊購入費(11か月分)、別刷り印刷代(30部)
その他支出		0	0	0	
当期支出合計(C)		8,044,950	6,595,022	-1,449,928	
当期収支差額(A)-(C)		-1,158,950	215,240	1,374,190	
次期繰越収支差額(B)-(C)		6,566,604	7,940,794	1,374,190	

上記収支報告書について監査した結果、適当と認めます。

2022 年 8 月 28 日

会計監事

安藤 哲信

2022 年 8 月 30 日

会計監事

宮本 悦子

2022 年度(2022 年 7 月～2023 年 6 月)事業計画

●年間行事予定

<2022 年>

- 7 月 1 日 研究会 2022 年度年会費請求書送付
- 7 月 1 日 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 10、No. 1 発行
- 7 月 8 日 第 1 回 2022Web 特別講演会、ZoomによるWeb開催 19:30～21:00
薬学臨床推論 はじめの一步 「痛みを中心とした病歴聴取」
亀田総合病院・薬剤部 北原 加奈之 先生
- 8 月 7 日 第 6 回簡易懸濁法Web実技セミナー 担当:石田志朗幹事
- 9 月 4 日 第 3 回日本服薬支援研究会/第 15 回簡易懸濁法研究会 学術講演会・総会
大会長 秋山滋男幹事、実行委員長 青木学一幹事
ZoomによるWeb開催 13:00～16:30 特別講演、一般講演(ポスター)、総会
特別講演:「小児への服薬支援」
北海道立子ども総合医療・療育センター薬剤部 飯田祥男先生
「服薬の入り口、摂食嚥下を理解しよう」
昭和大学薬学部 客員教授 倉田なおみ先生
(次回の学術講演会・総会 2023 年 9 月 3 日(日) 大会長:岸本 真 幹事)
- 9 月 30 日 簡易懸濁法認定薬剤師・指導薬剤師 新規・更新 申請締切
- 10 月 7 日 第 2 回 2022Web 特別講演会、ZoomによるWeb開催 19:00～20:30
薬学臨床推論 「病歴聴取と身体所見から読み解く～嘔吐を主訴とした症例～」
亀田総合病院・薬剤部 北原 加奈之 先生
- 11 月 3 日 簡易懸濁法 指導薬剤師Web試験
- 11 月 4 日 第 3 回 2022Web 特別講演会、ZoomによるWeb開催 19:00～20:30
薬学臨床推論 「検査所見から考える～肝障害～」
亀田総合病院・薬剤部 北原 加奈之 先生
- 11 月 6 日 簡易懸濁法 認定薬剤師Web試験 8:45～11:30
- 12 月 2 日 第 4 回 2022Web 特別講演会、ZoomによるWeb開催 19:00～20:30
薬学臨床推論 「薬剤師に必要な心電図の基礎知識」
亀田総合病院・薬剤部 北原 加奈之 先生
- 12 月 簡易懸濁法 認定薬剤師・指導薬剤師の認定試験および更新の結果発表

<2023 年>

- 1 月 平日夜 運動障害部会Web講演会 日程・講師未定
- 2 月 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 10、No. 2 発行
- 2 月 日・祝 第 7 回簡易懸濁法Web実技セミナー

- 3月9日 健康長寿部会Web講演会 19:30～21:00
 高齢者のADLに影響を与える薬剤への服薬支援を考える
 ～フレイルやサルコペニアを考え、褥瘡を予防しよう～
 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部 溝神 博文先生
- 3月12日 簡易懸濁法実技セミナー「ミニ」 in 北陸（後援） 13:00～15:30
 参加資格：石川県内在住薬剤師
 講義・実習指導：倉田なおみ先生
- 5月 第8回簡易懸濁法Web実技セミナー
- 6月平日夜 がんケア部会Web講演会 日程・講師未定

●委員会

<生涯教育部・簡易懸濁法認定制度委員会>

1) 簡易懸濁法認定制度の充実

<2022年>

- 7月 簡易懸濁法認定制度ホームページ更新
- 8月～9月末 簡易懸濁法認定薬剤師、簡易懸濁法認定指導薬剤師の募集(新規・更新)
- 10月 書類審査
- 11月 簡易懸濁法認定薬剤師 Web 試験・評価
 簡易懸濁法指導薬剤師 Web 実技試験・評価
- 12月 認定試験判定とフィードバック後の合否通知、更新判定と通知、認定証発送

<2023年>

- 2月～6月 簡易懸濁法認定制度の充実(HP更新を含む)に向けた検討・整備

2) 認定指導薬剤師の育成

簡易懸濁法 Web 実技セミナー実施時には認定薬剤師研修を行う(3～4回/年)

<生涯教育部・実技セミナー検討委員会>

活動目的 質の高いWeb実技セミナーを確立し、評価・改善を検討する。

活動目標 現在のWeb実技セミナーの評価・ブラッシュアップの実施

より発展的な内容のWeb実技セミナーの検討

アクションプラン

1) Web実技セミナーの評価・ブラッシュアップ

- ・参加者のアンケート結果を精査
- ・セミナーの所要時間、実施内容、事前準備方法等についてWeb会議を開催し、評価を行う。

2) アドバンスド簡易懸濁法 Web実技セミナーの検討

- ・実施内容(形式)、所要時間、参加対象、ファシリテータの養成などについて、Web会議を実施し、検討していく。

＜広報部・会誌委員会＞

- 1) 2022 年度研究会会誌 Vol. 10、No. 1を2022 年 8 月に発行
- 2) 次回のVol. 10、No. 2 は2023 年 2 月発行を予定
- 3) 服薬支援研究会の論文投稿について

服薬支援に関する論文を広く公募、服薬支援研究会会員に対してメールにて投稿を依頼。

＜広報部・HP委員会＞

- 1) 簡易懸濁可否情報共有システムデータの随時更新
- 2) 講演会・研修会等の HP への掲載

＜総務部＞

- 1) 一般社団法人、全国薬剤師・在宅療養支援連絡会(J-HOP)との連携の準備
 - ・ 簡易懸濁法実技セミナーおよび講演会等の会員への広報
 - ・ J-HOPの地域ブロックにおける簡易懸濁法実技セミナーの実施
- 2) 介護施設・在宅医療のための「食事状況から導く、薬の飲み方ガイド」、倉田なおみ先生編著、(株)社会保険研究所、11 月販売予定、会員特典販売(50%割引販売予定)

●部 会

＜運動障害＞

薬を包装から取り出す際や使用する際に、片麻痺、パーキンソン病、関節リウマチなどによる障害や、抗がん薬による爪囲炎等に伴う障害による服薬困難・使用困難に対して、その障害に合せた支援について、ツールの開発を含め行うため、令和 4 年度については以下の事業について実施する。

- 1) 運動機能障害に対する服薬支援の現状について把握するための会員に向けた調査の実施
- 2) 上市されている服薬支援に関するツールを把握するための調査
- 3) 運動機能障害と服薬支援に関する部門研修会の開催(WEB 形式)

これらの現状調査を行うことにより、運動障害による患者の服薬困難に対する薬剤師の関心を高める。

＜医療安全＞

- 1) 医療安全部会では、すべての患者に対して安全な服薬を目指している。そのため、PMDA や厚労省から発出された医薬品や服薬に関する情報について定期的に(1 か月に 1 回)確認を行い、部会内で重要であると判断した場合には、研究会のメーリングリストで情報共有する。なお、メーリングリストへの掲載適否については、部会長が部員にメールを通じて確認を行い、部員の承認を得る。
- 2) Web 講演会の開催を計画 2023 年度医療安全部会の研修会の講師について選考する。

＜摂食嚥下障害＞

Web 講演会の開催を計画

<小 児>

目的 乳幼児における薬剤の経管投与時の課題抽出と解決方法の検討

目標 乳幼児におけるチューブ通過性試験条件の確立

乳幼児におけるチューブ閉塞の要因解析と閉塞防止方法の検討

アクションプラン

1) コアメンバーの招集

熊木、原田の他、現場の薬剤師として4名のメンバーに打診予定

必要に応じて随時追加予定

2) コアメンバーによる検討計画の立案

1) 特性要因図(フィッシュボーン分析)の作成

2) フォーカスグループで議論すべき課題の整理

3) フォーカスグループによるグループ討議

実際に投薬に携わる看護師・家族の方を募集(15名程度:1グループ5名×3グループ)し、ブレインストーミングを実施、KJ法で分析予定

4) チューブ通過性試験およびチューブ閉塞時の理化学試験条件の確立

- ・ 経鼻チューブ通過性試験(服薬支援研究会の有志)
- ・ 実際の条件を考慮した試験(昭和大薬剤学部門)→弁、酸、相互作用の影響

5) アウトプット

- ・ 研究会総会および会誌での報告
- ・ 経管投与ハンドブック第5版への掲載
- ・ 学術雑誌への論文投稿

<がんケア>

会誌やWeb講習会などを通じて情報発信を行う

内容 ・ がんサバイバーが行うコロナ禍を過ごす工夫

- ・ がん末期の患者さんの口臭対策
- ・ 乳がん患者への入浴着の啓発
- ・ 抗がん剤により生じる不快な副作用症状(末梢神経障害、手足症候群、脱毛、味覚障害など)についての予防法、対策法、シャンプーの選び方
- ・ 内服抗がん剤などハザードドラッグスによる汚染状況と曝露対策
- ・ がん検診の推進について

<健康長寿(未病・予防)>

会誌やWeb講習会(2023年3月9日開催)などを通じて情報発信を行う

内容 ・ 健康長寿(未病・予防)を長く維持するため、フレイルやサルコペニア、褥瘡などについて理解を深め、より良い服薬支援につなげる。

＜その他＞

1) 2020 年度診療報酬改定で算定できるようになった「経管投与支援料」について

どういうケースで請求できるか(簡易懸濁法で退院した場合も算定可能か)について、薬剤師が理解できるよう厚労省へ疑義照会していく

2) 簡易懸濁法 DVD の活用

- ・賛助会員、製薬企業へ、簡易懸濁法の正しい理解のために配布
- ・簡易懸濁法認定薬剤師の研修用

2022年度 日本服薬支援研究会 収支予算(案)

(2022年7月1日～2023年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		2021年度	2021年度	予実	2022年度	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		予 算 案	
会費収入		5,296,000	5,584,000	105.4%	5,581,000	
	正会員会費	3,790,000	4,030,000	106.3%	4,125,000	5,000円×825件 ※純増率106%
	学生会員会費	6,000	4,000	66.7%	6,000	2,000円×3件
	賛助会員会費	1,500,000	1,550,000	103.3%	1,450,000	50,000円×29口(15団体)
事業収入		1,590,000	1,118,500	70.3%	2,068,000	
	講演会費	720,000	22,500	3.1%	578,000	【総務部】Web特別講演会参加費／会員1,000円×100名×3回=300,000円 【医療安全部門】Web講演会参加費／計50,000円 ・会員およびJHOP会員 500円×80名=40,000円 ・非会員1,000円×10名=10,000円 【摂食嚥下部門】Web講演会参加費／会員500円×100名=50,000円 【健康長寿部門】Web講演会参加費／計8,000円 ・会員 無料 ・JHOP会員 500 円×6名 ・非会員 1,000 円×5名 【がんケア部会】Web講演会参加費／計70,000円 ・会員500円×70名 ・JHOP会員1,000円×20名 ・非会員1,500円×10名 【運動障害部会】Web講演会参加費／会員1,000円×100名=100,000円
	学術大会・総会費	0	13,000		110,000	・会員500円×100名 ・非会員2,000円×30名
	実技研修会費	685,000	913,000	133.3%	1,160,000	【総務部】Web実技セミナー／計:1,160,000円 会員6,000円×30名=180,000円、非会員11,000円×10名=110,000円(計290,000円/回) ×4回
	認定事業費	185,000	170,000	91.9%	215,000	指導薬剤師新規審査料(＠10,000円×7名)、指導薬剤師新規登録料(＠5,000円×7名) 認定薬剤師更新審査・登録料(＠5,000円×2名) 認定薬剤師新規審査料(＠5,000円×10名)、認定薬剤師新規登録料(＠5,000円×10名)
その他収入		0	107,762		0	
当期収入合計(A)		6,886,000	6,810,262	98.9%	7,644,000	
前期繰越収支差額		7,725,554	7,725,554	100.0%	7,725,554	
収入合計(B)		14,611,554	14,535,816	99.5%	15,369,554	

【支出の部】

(単位:円)

勘定科目		2021年度	2021年度	予実	2022年度	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		予 算 案	
事業費支出		2,453,670	2,086,275	85.0%	2,590,446	
	講演会費	539,120	111,368	20.7%	575,448	Web講演会／謝礼、Zoom年間契約料、peatix手数料
	学術大会・総会費	176,700	148,411	84.0%	165,630	学術講演会・総会(Web開催)／謝礼、日当、Zoom大規模ミーティング料、peatix手数料
	実技研修会費	905,000	861,762	95.2%	1,268,796	Web実技セミナー (4回)、セミナー資材代
	認定事業費	128,850	259,734	201.6%	316,572	認定証発行等費用、認定薬剤師・指導薬剤師Web試験／労務提供費
	簡易懸濁可否情報共有システム保守費	264,000	264,000	100.0%	264,000	簡易懸濁可否情報共有システム保守費:2,2000円(税込)／月*12カ月分
	ホームページ改修費用	440,000	440,000	100.0%	0	
管理費支出		4,440,500	4,040,125	91.0%	4,005,788	
	幹事会・委員会費	464,000	173,480	37.4%	302,000	・Web幹事会(15名参加×12回) ・委員会等web会議費用
	事務消耗品費	714,000	530,802	74.3%	716,598	会報作成費用(2回)、発送用封筒購入費
	通信費	202,000	115,161	57.0%	221,610	印刷、郵送費、発送費用
	人件費	2,964,500	2,927,100	98.7%	2,655,950	アクセライト社業務委託費用、税理士事務所委託費用
	租税公課	0	107,759	#DIV/0!	0	源泉徴収税
	原稿料	20,000	35,000	175.0%	25,000	原稿執筆料(図書券)
	雑費	76,000	150,823	198.5%	84,630	振込手数料、共有システム表彰費(図書カード)
予備費	予備費	1,150,780	469,622	40.8%	900,000	(仮称) 会員管理および事務サポートシステムの導入費 介護施設・在宅医療のための、「食事状況から導く、薬の飲み方ガイド」特別割引負担費
その他支出		0	0		0	
当期支出合計(C)		8,044,950	6,595,022	82.0%	7,496,234	
当期収支差額(A)－(C)		-1,158,950	215,240		147,766	
次期繰越収支差額(B)－(C)		6,566,604	7,940,794	120.9%	7,873,320	

2022 年度 日本服薬支援研究会（旧簡易懸濁法研究会）役員

1. 代表幹事	昭和大学薬学部	倉田 なおみ
2. 副代表幹事	大洗海岸病院薬剤部 徳島文理大学香川薬学部	新井 克明 石田 志朗（所属変更）
3. 幹事	（特非）健康環境教育の会 （株）ハッピーファーマシー フローラ薬局 東京薬科大学薬学部 霧島市立医師会医療センター薬剤部 岡山大学病院薬剤部 武蔵野大学薬学部 東京医科大学八王子医療センター薬剤部 済生会横浜市南部病院入退院支援センター 北里大学薬学部 昭和大学薬学部 兵庫医科大学薬学部 岡山大学病院薬剤部 金沢医科大学病院薬剤部 北陸大学薬学部	宮本 悦子 天野 学（所属変更） 篠原 久仁子 秋山 滋男 岸本 真 座間味 義人 世良 庄司 輿石 徹 飯田 純一 青木 学一 熊木 良太 橋本 佳奈（所属名称変更） 久保 和子 中田 いちこ（新幹事） 毎田 千恵子（新幹事）
4. 監事	（特非）健康環境教育の会 吉備高原ルミエール病院薬剤科	宮本 悦子（新監事） 安藤 哲信（新監事）
5. 顧問	益田赤十字病院薬剤部 鳴門山上病院薬剤科 徳島文理大学薬学部名誉教授 千葉西総合病院薬剤科 和泉市立総合医療センター薬剤部 岐阜薬科大学 吉備高原ルミエール病院薬剤科 有隣病院薬剤科 元第一三共株式会社研究開発部	西園 憲郎 賀勢 泰子 岡野 善郎 小茂田 昌代 藤原 琴 寺町 ひとみ 安藤 哲信（新顧問） 近藤 幸男（新顧問） 今野 勉（新顧問）
6. 事務局	株式会社アクセライト	

赤字：変更点

2022 年度 日本服薬支援研究会/旧簡易懸濁法研究会 組織(案)

【部・委員会】担当幹事

1. 会計部 座間味義人、世良庄司、久保和子
2. 総務部 石田志朗、熊木良太、**毎田千恵子**
 - ・ 規律委員会 世良庄司、倉田なおみ
3. 広報部
 - ・ 会誌委員会 岸本 真、秋山滋男、**中田いちこ**
 - ・ HP 委員会 世良庄司
4. 学術部
 - ・ 学術集会委員会 各幹事、総務部
 - ・ 学会レポーター係り 座間味義人
 - ・ 調査研究委員会 輿石 徹、新井克明、秋山滋男、世良庄司
宮本悦子 (Q&A)
5. 生涯教育部 **新井克明**
 - ・ 実技セミナー検討委員会 熊木良太、橋本佳奈、秋山滋男、
新井克明、岸本 真、石田志朗、
倉田なおみ
 - ・ 簡易懸濁法認定制度委員会
青木学一、輿石 徹、篠原久仁子、
飯田純一、**橋本佳奈**
6. 監事 宮本悦子、**安藤哲信**
7. 事務局 世良庄司、株式会社アクセライト
(東京都文京区本郷 3-5-4 朝日中山ビル 5 階)

アンダーライン：委員長、赤字：本年度変更

【部会】担当

1. 摂食・嚥下障害 石田志朗、岸本 真、天野 学、
2. 運動障害 岸本 真、篠原久仁子、毎田千恵子
3. 健康長寿 飯田純一、橋本佳奈
4. がんケア 青木学一、座間味義人、輿石 徹、久保和子、
小原道子（帝京平成大学薬学部、
岐阜薬科大学及びウエルシア HD 株式会社）
5. 医療安全 秋山滋男、宮本悦子、新井克明、中田いちこ
6. 小児 熊木良太、原田 努（昭和大学薬学部）

アンダーライン：部会長、赤字：本年度変更

日本服薬支援研究会 会則

(総則・名称)

第1条 本会は日本服薬支援研究会と称する。

英名は、The Japan Association for Patient Support on Medication とする。

(目的)

第2条 本会は患者またはその看護に当たっている家族及び医療従事者に対する服薬支援を中心に、摂食・嚥下障害、運動障害、健康寿命、小児、高齢者、がんケア、医療安全等の分野において、薬を安全かつ効果的に投与することに関して研究し、その成果を普及させる。そして、患者の医薬品及び医療を主とした生活全般を支援することによりQOLの向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 研究会の開催など、簡易懸濁法の研究・普及を含む患者の服薬支援及び医薬品および医療に関連する生活支援に関する事業
- (2) 医療・介護現場における問題点の抽出、医療・介護施設及び研究機関(大学・企業など)との連携による研究
- (3) 医療・介護施設間の連携強化による服薬支援・生活支援実施の見学幹旋業務
- (4) 国内外関係学会との連携および国際交流
- (5) 機関誌その他刊行物の発行
- (6) その他、本会発展のために必要な事業

(構成・会員)

第4条 本会は本会の目的、事業に賛同し、所定の手続きを行った次の会員をもって構成する。

- (1) 一般会員：本研究会の目的に賛同する個人
 - (2) 学生会員：本研究会の目的に賛同する学部・大学院在学中の学生
なお、就職しての大学院生（社会人大学院生）は一般会員とする。
 - (3) 賛助会員：本研究会の目的に賛同し、本会の事業を援助する企業・団体または個人
2. 本会に入会を希望する者は申込用紙に必要事項を記入し、研究会事務局に届け出た者とする。以上の手続きを行い、役員の承認を得た上で会員細則に規定する会費を納入した者を会員とする。
 3. 会員の特典については、別途会員細則に規定する。
 4. その他、年会費、入会の期間、更新、休会、退会、再入会等については、別途細則に規定する。

(役員)

第5条 本会に次の役員をおく。

代表幹事 1名
副代表幹事 2名
幹事 若干名
監事 2名
事務局長 1名
顧問 若干名

第6条 役員の職務

代表幹事は本会を統括し、幹事会ならびに総会では議長となる。

2. 幹事は幹事会を構成し、学術研究会をはじめとする本会事業の運営方針を立案しこれを推進する。なお、会の効率よい運営のため、学術事業委員会、渉外広報委員会、財務委員会、総務委員会、生涯教育委員会に幹事若干名を置くこととする。
3. 会計監事は本会の会計を監査する。

第7条 役員の選出および任期

代表幹事および副代表幹事は、幹事の互選により選出されるものとし、その任期は2年とするが再任は妨げない。

2. 幹事、監事及び事務局長は、幹事会の推薦により選出されるものとし、その任期は2年とするが再任は妨げない。
3. 顧問は、幹事会の推薦により選出されるものとする。

第8条 幹事会

幹事会は必要に応じて開催するが、電子メールやWeb会議ツールを用いての会議も可能とする。

(部 会)

第9条

当研究会は、調査・研究等の学術事業の執行のために必要があるときは、各種の部会を設けることができる。

2. 各部会の部会長及び委員は、幹事会の承認を得て代表幹事が委嘱する。
3. 各部会の任務、構成及び運営に必要な事項は、幹事会の決議により別に定める。

(学術集会)

第10条

当研究会は、幹事会の決議を経て、学術集会を開催する。

2. 前項に規定する学術集会のほか、あらかじめ幹事会の決議を経たうえで、講演会、研究会等を開催することができる。
3. 学術集会開催にあたり、幹事会の決議をもって会員の中から学術集会大会長を選任する。
4. 学術集会大会長の任期は、前年の学術集会が終了した時から自らが主宰する学術集会が終了した時までとする。

(会計・会費)

第11条 本会の経費は会費・寄付金・その他の収入をもってこれに充てる。本会の収支決算書は会計年度終了後に事務局が作成し、会計監事の監査を受けた上で、幹事会の承認を得て会員に報告しなければならない。

2. 会員は会則細則に定める年会費を納める。会費は主として本会の運営に充当されるものとする。なお、会費は幹事会で議決し、決定するものとする。
3. 会計年度は毎年7月1日から6月30日までとする。

(事務局)

第12条 事務局は代表幹事のもとに、会員名簿の整理、会費の管理等研究会の運営に必要な諸事務をおこなう。研究会事務局の所在地等は細則に示す。

(会則の変更)

第13条 会則の変更は幹事会の議を経て、会員に報告するものとする。

2. 幹事会は2/3以上の幹事の出席(委任状を含む)をもって成立し、出席者(委任状を含む)の過半数で議決される。

付則

本会則は、2019年6月1日から施行する。

細則、第3条、第3項を追加 2020年4月7日

会則の第4条及び細則の第条を改正、別途「会員細則」を設けた。 2020年9月9日

細則、第4条を変更 2021年4月1日

会則の第7条を変更 2022年8月28日

細則

第1条 本会の運営に必要な事項は、この細則に定める。

第2条 細則の立案及び修正は、会則第13条により幹事会が行う。

第3条 会則第4条に定める会員の特典、入会・期間・休会・退会・再入会および会費は別途「会員細則」により定める。

第4条 研究会事務局の所在地等

株式会社アクセライト内

東京都文京区本郷3-5-4 朝日中山ビル5F

E-mail:fukuyakushien-office@umin.ac.jp

簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者表彰

1 位 15 件 春日井 公美 先生

2 位 8 件 秋山 滋男 先生

3 位 5 件 岩尾 雄大 先生